

日本一の読書のまち三郷に

子ども司書

2期生19名が誕生！

「日本一の読書のまち三郷宣言」を議決した三郷市とで「ペース」「ららほ」とみさ

では、本と人をつなぐ子どもの読書活動リーダーを養成している。12月20日、全ての講座を終えた子どもたちを対象に、閉講式が三郷市情報発信ス

閉講式では、榎本幹雄教育長が10回の講座を修了した児童19名一人一人へ認定証を授与し、固い握手を交わした。

認定証が授与された

後、子どもたち全員

が、10回の講座と子ども司書となつての今後の抱負を述べた。三郷市立前間小6年、小野澤香純（おのさわ かすみ）さんは、「講座の中で行った『ららほとみさ』での読み聞

かせ会では、小さな女の子がにこにしながら私の前に座り、すごく楽しそうに聞いてくれました。

「イバル」で民話の群読を披露する。また、公立図書館や地域の読書活動への支援を行う予定。

た。小さなことだけれど、私はとても嬉しかったです。これからも、子ども司書として、日本一の読書のまち三郷の市民として、本の楽しさをみんなに伝えていきたいと思います」、また、丹後小6年、五十嵐勇気君は「これからは、子ども司書として小さい子どもたちにも本を読み聞かせ、読書を好きになつてもらえるような活動をしていきたいです」と話した。

今後は、2月1日、三郷市文化会館で開催予定の「第7回読書フェステ

